

4. 排ガス測定

① 1号炉

項目		単位	測定結果		基準値	判定
採取年月日		—			—	—
ばいじん（基準酸素換算値）		g/m ³ N			0.25	
硫黄酸化物（排出量）		m ³ /h			1回目 2回目	
窒素酸化物（基準酸素換算値）		volppm			250	
塩化水素（基準酸素換算値）		mg/m ³ N			700	
水銀（基準酸素換算値）		μg/m ³ N			50	
ガス状水銀（基準酸素換算値）		μg/m ³ N			—	—
粒子状水銀（基準酸素換算値）		μg/m ³ N			—	—
水分		vol%			—	—
ガス組成	二酸化炭素	vol%			—	—
	酸素	vol%			—	—
	窒素	vol%			—	—
排ガス温度		℃			—	—
排ガス流速		m/s			—	—
排ガス量	湿り	m ³ /h			—	—
	乾き	m ³ /h			—	—
空気比		—			—	—

② 2号炉

項目		単位	測定結果		基準値	判定
採取年月日		—			—	—
ばいじん（基準酸素換算値）		g/m ³ N			0.25	
硫黄酸化物（排出量）		m ³ /h			1回目 2回目	
窒素酸化物（基準酸素換算値）		volppm			250	
塩化水素（基準酸素換算値）		mg/m ³ N			700	
水銀（基準酸素換算値）		μg/m ³ N			50	
ガス状水銀（基準酸素換算値）		μg/m ³ N			—	—
粒子状水銀（基準酸素換算値）		μg/m ³ N			—	—
水分		vol%			—	—
ガス組成	二酸化炭素	vol%			—	—
	酸素	vol%			—	—
	窒素	vol%			—	—
排ガス温度		℃			—	—
排ガス流速		m/s			—	—
排ガス量	湿り	m ³ /h			—	—
	乾き	m ³ /h			—	—
空気比		—			—	—

5. 排ガス中ダイオキシン類

項目	単位	1号炉測定結果	2号炉測定結果	基準値※1	判定
採取年月日	—			—	—
ダイオキシン類(毒性等量)	ng-TEQ/m ³ N			10	
酸素(平均実測値)	%			—	—
一酸化炭素(平均実測値)	ppm			—	
ばいじん(基準酸素換算値)	g/m ³ N			0.25	
塩化水素(基準酸素換算値)	mg/m ³ N			700	

※1 排出規制基準(法第2条及び第8条)

6. 焼却灰中ダイオキシン類

項目	単位	採取年月日	測定結果	基準値※2	判定
焼却灰中ダイオキシン類(毒性等量)	ng-TEQ/g-dry			3	

※2 煤塵等を埋立処分することができる基準(法第24条)

7. ばいじん中ダイオキシン類

項目	単位	採取年月日	測定結果	基準値※3	判定
ばいじん中ダイオキシン類(毒性等量)	ng-TEQ/g-dry			—	※3

※3 法の施行(平成12年1月15日)の際、現に設置され、又は設置の工事がされていた特定施設である廃棄物焼却炉から排出される廃棄物をセメント固化等により処分する限り、基準は適用されない。

8. ごみ質分析

①可燃物

項目		単位	分析結果			
試料採取日		—	R2.5.14			平均
組成分類	紙類	%	21.2			
	布類	%	8.3			
	ゴム・皮革類	%	0.0			
	木・竹・わら類	%	43.5			
	厨芥類	%	14.9			
	その他可燃物類	%	0.5			
	不燃物類	%	11.6			
	合計	%	100.0			
不燃物の組成分析	金属類(鉄)	%	1.2(10.3)			
	非鉄金属類	%	0.9(7.8)			
	ガラス・陶磁器類	%	0.0(0.0)			
	ビニール類	%	0.0(0.0)			
	合成樹脂類	%	9.5(81.9)			
	その他不燃物類	%	0.0(0.0)			
	合計	%	11.6(100.0)			
単位容積重量		kg/m ³	195			
3成分	水分	%	45.8			
	灰分	%	5.1			
	可燃分	%	49.1			
低位発熱量		kcal/kg	1,935			
(昭和52年環整95号による計算値)		kJ/kg	8,099			
低位発熱量		kcal/kg	2,054			
(札幌市算出式による計算値)		kJ/kg	8,596			

